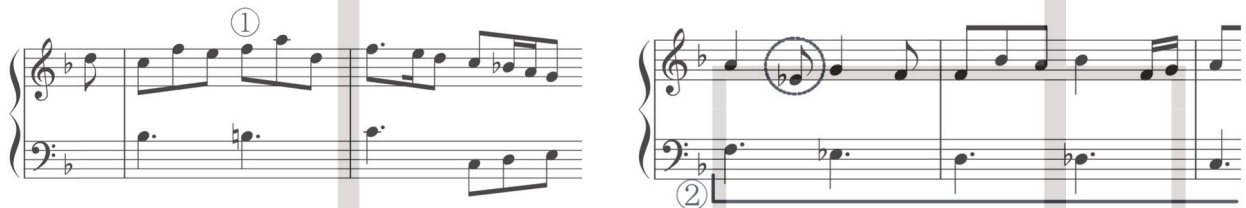


1. 単旋律聴音課題



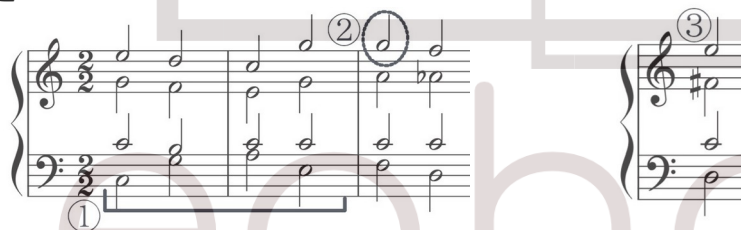
- ①リズム…付点のリズムと3連符のリズムが混在しています。裏拍をしっかりと捉えましょう。
- ②休符…8分休符で響きが途切れていることに留意します。
- ③転調…7小節目、曲の終盤に下屬調に転調、さらにEがりに（準固有和音）となっています。

2. 複旋律聴音課題



- ①ドッペルドミナント…半終止に至る3小節目、ドッペルドミナントが使用されています。
- ②転調について…導音のEが半音下がり下屬調に転調していますが、バスの動きの通り、クロマティック（半音階進行）転調で7、8小節目の完全終止に向かっていきます。

3. 和声聴音課題



- ①和声進行について…冒頭の2小節目はIからVIに向かったのち、Iの第一転回形に進行しています。この進行はG.ヘンデルが好んで用いています。



George Frideric Handel : Fantasia in C major, HWV 490

- ②非和声音…○で囲まれたGは、Fに解決する倚音です。
- ③ドッペルドミナント…この和音はドッペルドミナントの（長）属九の和音（基本形）です。